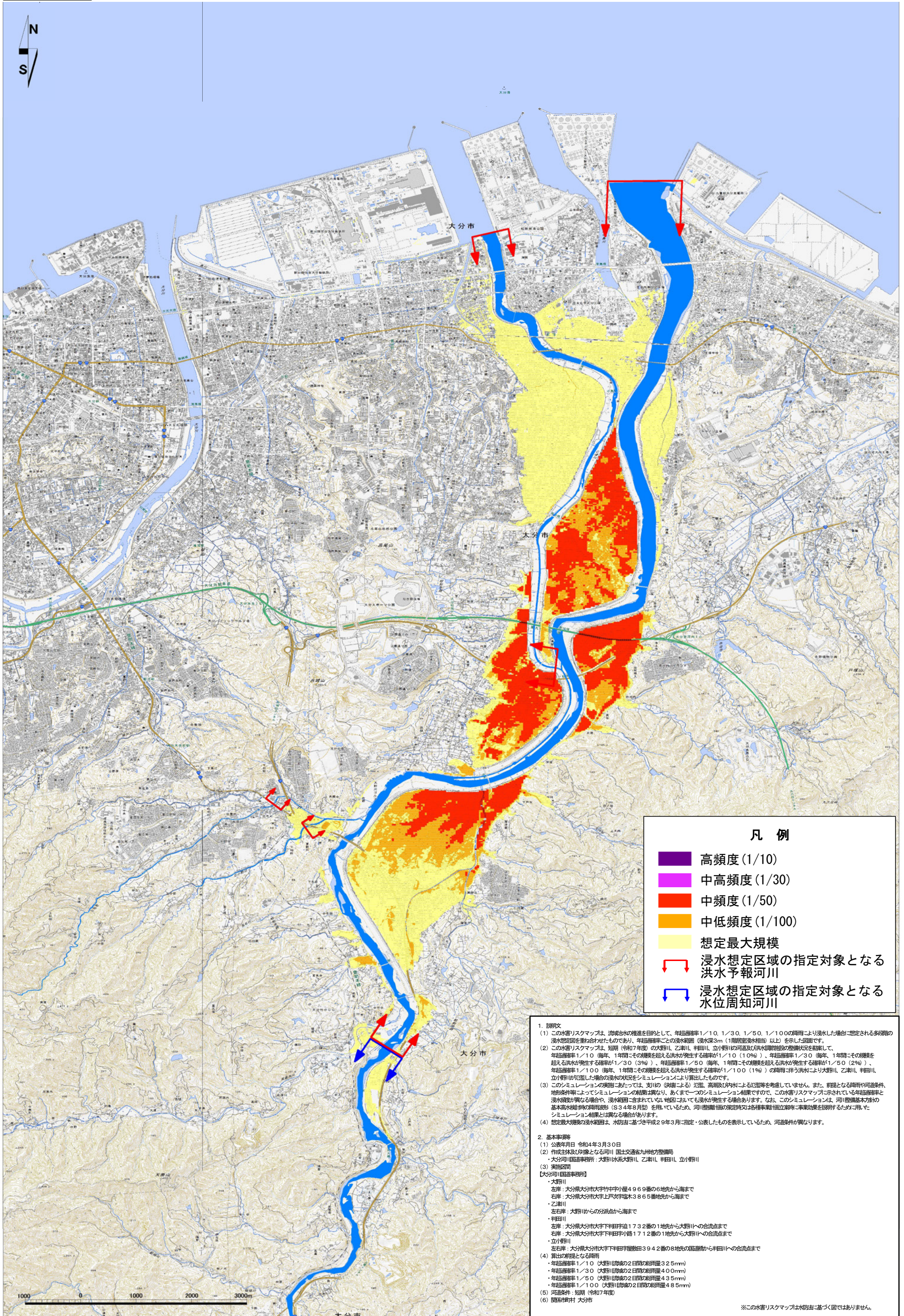


大野川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【短期河道】

暫定版

浸水深3m（1階居室浸水相当）以上の浸水が想定される範囲を表示



凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 想定最大規模
- 浸水想定区域の指定対象となる洪水予報河川
- 浸水想定区域の指定対象となる水位周知河川

1. 説明文
 (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定区域を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深3m（1階居室浸水相当）以上）を示した図面です。
 (2) この水害リスクマップは、短期（令和7年度）の大野川、乙津川、判田川、立小野川、大野川水系の河川及び洪水予報河川の浸水想定区域を基に、年超過確率1/10（毎年、1年間その規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間その規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間その規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間その規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により大野川、乙津川、判田川、立小野川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（河川）氾濫、高層及び内河川による氾濫等を考慮していません。また、前述となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水規模が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地域においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川基本図（基本図）を基に、河川基本図（3.4年8月版）を用いているため、河川基本図の策定時とは異なる河川基本図の適用による結果の差異が生じる可能性があります。
 (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年3月31日現在公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項
 (1) 公表年月日 令和4年3月30日
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
 ・大野川水系事務所：大野川、乙津川、判田川、立小野川
 (3) 実施空間
 【大野川】国土事務所
 ・大野川
 左岸：大分県大分市大字下野田字中野4969番の6地先から海まで
 右岸：大分県大分市大字上野田字本3865番地先から海まで
 ・乙津川
 左岸：大野川からの分岐点から海まで
 ・判田川
 左岸：大分県大分市大字下野田字1732番の1地先から大野川への合流点まで
 右岸：大分県大分市大字下野田字1712番の1地先から大野川への合流点まで
 ・立小野川
 左岸：大分県大分市大字下野田字田屋3942番の8地先の基盤跡から判田川への合流点まで
 (4) 算出の前提となる降雨
 ・年超過確率1/10（大野川）2日間の総雨量325mm
 ・年超過確率1/30（大野川）2日間の総雨量400mm
 ・年超過確率1/50（大野川）2日間の総雨量435mm
 ・年超過確率1/100（大野川）2日間の総雨量485mm
 (5) 河道条件：短期（令和7年度）
 (6) 関係行政機関 大分市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。